

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



今週は「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」についてです。人から人へ二次感染を起こしやすく、集団生活の場では特に注意が必要です。丁寧な手洗いは感染予防の基本です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事の前など、こまめに手を洗いましょう。

## ●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

### ◆どんな病気?

A群レンサ球菌という細菌が、のど(上気道)に感染して発症する咽頭炎です。赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多くみられます。

・感染経路①飛沫感染…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことにより感染。

②接触感染…細菌が付いた手を介して感染。

主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児の集団生活施設内での感染も多いです。

・症状…2~5日の潜伏期間の後に、突然の発熱とだるさ、のどの痛み(咽頭発赤)で発症し、イチゴのような舌(写真参照)がみられたり、嘔吐を伴うことがあります。点状紅斑様、日焼け様の皮疹が全身に広がる猩紅熱や、リウマチ熱や糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。

・流行期……冬季及び春~初夏に多くみられます。

### ◆かかったらどうすればいいの?

・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲むことが大切です。

・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

### ◆予防法は?

①症状のある人との密接な接触を避ける。②手洗い、咳エチケットを心掛ける。③感染者とのタオルの共用は避ける。



国立感染症研究所 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは」より

期 間		2023年 10週		2023年 11週	
		3/6~3/12		3/13~3/19(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	151	6.04	125	5.00
RSウイルス感染症	↑	13	0.81	23	1.44
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	2	0.13	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	8	0.50	0	0.00
感染性胃腸炎	↑	61	3.81	56	3.50
水痘(みずぼうそう)	↑	0	0.00	2	0.13
手足口病	↑	0	0.00	0	0.00
伝染性紅斑(りんご病)	↑	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	↑	10	0.63	5	0.31
ヘルパンギーナ	↑	14	0.88	4	0.25
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	↑	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑	1	0.20	1	0.20
細菌性髄膜炎	↑	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	↑	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	↑	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	↑	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑	0	0.00	0	0.00